

事務所 〒690-0874 松江市中原町167-1-3F TEL 21-6143 FAX 31-8985
HP: http://www.matsue-rotary.jp E-mail: office@matsue-rotary.jp

第3414回例会 (令和6年2月7日・水)

今週のプログラム

2月7日(水) ゲストスピーチ
「観光を中心とした、地域づくり」
一般社団法人 Expe 代表理事 ひろせ とおる 広瀬 徹氏

次週のプログラム

2月28日(水) ゲストスピーチ
「台湾と日本を繋ぐ蔵『台雲酒造』」
台雲酒造合同会社 代表社員
松江観光大使、出雲観光大使 ちん いにん 陳 韋仁氏
道島使(島根県PR大使)

●例会変更のお知らせ

月 日	クラブ名	受付場所
2月15日(木)	松 江 東	ホテル一畑
2月19日(月)	松 江 南	松江エクセルホテル東急
2月20日(火)	松江しんじ湖	ホテル一畑
2月20日(火)	境 港	境港市上道町3147(クラブ事務局)
2月22日(木)	松 江 東	ホテル一畑
3月5日(火)	松江しんじ湖	ホテル一畑
3月8日(金)	出 雲 南	出雲ロイヤルホテル内事務局
3月18日(月)	松 江 南	松江エクセルホテル東急
3月19日(火)	松江しんじ湖	ホテル一畑
3月21日(木)	松 江 東	ホテル一畑

2024年2月～3月の予定 (★衛星クラブ含む)

- 2月7日(水) 定例理事会
- ※ 2月14日(水) 休会 (11月22日の当初休会を例会開催変更したため振り替えて休会)
- ※ 2月21日(水) 休会
- 3月6日(水) 定例理事会
- 3月10日(日) Intercity Meeting
ホスト：江津RC
会 議：江津市総合市民センター (ミルキーウェイホール)
懇親会：江津ひと・まちプラザ (パレットごうつ)
- ※ 3月20日(水) 祝日 例会なし

●●● 誕生月 ●●●
服部 泰直会員 1日 細田 重雄会員 11日
谷口 正人会員 14日

●●● 出席100%賞 ●●●
信太 秀夫会員 41年 今井 直樹会員 36年

第3413回例会記録

令和6年1月30日 (火・晴れ)

	会員数 (人)	出席者数 (人)	欠席者数 (人)	出席率 (%) (出席免除会員含む)	前々回補正 (%) (出席免除会員含む)
松江クラブ	65	43 (リアルタイム43)	22	71.67	91.94

メーキャップ：今井 (松江東)、伊原、永通、錦織、長谷川、舟越 (松江しんじ湖)、河原、藤原 (理事会)

【松江4クラブ合同例会】ホスト：松江しんじ湖RC <例 会> 18:30

- 司会：SAA 峠田 晃宏
- 開会点鐘 松江しんじ湖RC会長 又賀 敬子
- 国家斉唱 ソングリーダー 高濱 範子
- ロータリーソング「奉仕の理想」
- 「四つのテスト」唱和 職業奉仕理事 尾添 憲夫
- 黙 禱
- ホストクラブ会長挨拶
松江しんじ湖RC会長 又賀 敬子
- ガバナー挨拶 RI第2690地区ガバナー 石倉 貞昭
- ガバナー補佐挨拶
第3グループガバナー補佐 勝部 亮
- 次年度ガバナー補佐紹介
第3グループガバナー補佐 勝部 亮
- 次年度ガバナー補佐挨拶
第3グループ次期ガバナー補佐 浜崎 晃
- 各クラブ会長/幹事/新入会員紹介 (2023年8月31

- 日以降入会) / 米山記念奨学生
<クラブ別に登壇 各クラブ幹事よりまとめて紹介>
- 幹事報告 松江しんじ湖RC幹事 吉村日出国
- 委員会報告 (出席報告)
松江しんじ湖RC出席委員 佐藤 徹志
- 閉会点鐘 19:20
松江しんじ湖RC会長 又賀 敬子

- <懇親会> 19:20~
司会：松江しんじ湖RC親睦副委員長 佐藤 忠彦
- 開会挨拶 松江しんじ湖RC親睦委員長 高濱 範子
- 乾 杯 第2690地区代表幹事 幡 宏明
- アトラクション
「潜戸太鼓」
- 閉会挨拶 松江しんじ湖RC副会長 古安 正好
- ロータリーソング「手に手つないで」
ソングリーダー 高濱 範子
- 閉 会 20:50

「家族交流 バーベキューと石窯ピザの会」

2024年1月27日(土) 11:30～

於: 佐藤尚士会長宅



松江4クラブ合同例会

2024年1月30日(火) 18:30~20:50

於：ホテル一畑 平安

ホスト：松江しんじ湖RC



ひとこと
随想

それにしても古代出雲人はスゴい！



あまのこういち
天野浩一

昨年晩秋、「出雲国風土記」に神宿る山として登場する4つの神名火山（朝日山、茶臼山、大船山、仏経山）に登りました。古代から神の山として信仰され続けるこれらの山の魅力は何なのか、少しでも知ることができればと職場の仲間とハイキング気分で行きました。

神名火山は宍道湖を取り巻くように南北それぞれ2山、計4つの山々です。標高は高い山で360m程度ですから、1時間もあれば頂上に立つことができます。当日は天候に恵まれ、どの山頂からも素晴らしい眺望を堪能することができました。

宍道湖と斐川平野の広大な広がり、遠く奥出雲から流れ入る斐伊川と中海にそそぐ大橋川のうねり。日御碕から美保関まで雄大な連なりでよこたう島根半島とその先に浮かぶ隠岐諸島。極めつけは、遠く東方伯耆国にそびえる“大山”と西方石見国にそびえる“三瓶山”の雄姿です。

4つの山頂からの眺望を合成すると、東西70kmにもおよぶ出雲国の壮大な地形が立体的に浮かんでいきます。目前に広がる景色はまさに「出雲国風土記」に記された「国引き神話」の舞台そのものでした。

まるで出雲国を空から俯瞰したかのような、地形と合致したスケールの大きい神話はあまりにも有名ですが、おそらく古代出雲の時代から連綿と受け継がれてきた物語なのだと思います。

古代出雲人の想像力・妄想力には驚かされますが、4つの頂に立ち古代出雲に想いを馳せると、彼らはきっとこの山頂からこの景色を眺め、“国引き”を想像・妄想したに違いありません。しかもひとつの山だけでは物語は成立しません。4つの山に登ってこそ想像できる物語であり、神宿る山の由来はここにあると勝手に確信し納得した充実の山登りでした。

（電気供給）